

“鎌倉時代の皇室公家文化”をテーマにしたまちづくり

奈良女子大学 大和・紀伊半島学研究所
古代学・聖地学研究センター
前川 佳代

はじめに

桜井、広瀬、百山など島本町一帯に広がる水無瀬殿関連遺跡⇒当時の都市形態。
水がテーマの島本町。水は上位の池から下位の池へ流れ巡る。←庭園と風景残る強み。
後鳥羽院の水無瀬殿は唯一無二の、「鎌倉時代皇室公家文化の遺産」⇒地域ブランド「MINASE」。

1. 桜井地区の遺跡と景観・・・桜井地域は水無瀬殿関連遺跡が眠る

越谷遺跡 縄文時代～ 人の営み確認

御所池周辺の地名と岬状地形田圃・・・平安時代前期の庭園との類似が指摘される。

越谷遺跡第1地区第2遺構面（古代）から御所池の汀ラインを検出、隣接地に延びる。
レベルは17.8m、岬状地形のレベルとほぼ一致。

御所池と岬状地形田圃は一体の池跡。平安時代造営・・・桜井御所や惟喬親王伝説。

東に向く地形は、月見の池か？・・・中秋と十三夜で確認。

尾山遺跡 平安時代以前の掘立柱建物、鎌倉時代の池跡・・・水無瀬殿関連遺跡。

尾山遺跡からみた御所池・岬状田圃と山容は山越阿弥陀の世界。

2. 文化遺産の保存と活用・・・文化財を生かした地域づくり⇒文化庁の支援事業

島本町に点在する水無瀬殿関連遺跡は、長期的計画に調査研究していく必要がある。

⇒「文化財保存活用地域計画」＝文化財保護法の改正により地域における文化財の保存と活用を総合的に、かつ計画的に行うことができるよう創設された制度（H31年4月～）。

「歴史文化基本構想」文化財の周辺環境を含めて総合的に保存・活用するための基本的な構想。

⇒「地域文化財総合活用推進事業」＝文化遺産を活用した地域活性化に係る取組への支援。

地域計画の認定⇒位置づけた活用拠点や事業について、施設整備などの補助金が得られる。

3. 遺跡公園について

1) 遺構の見せ方

①露出展示： 史跡・名勝宮跡庭園（奈良市）、史跡・名勝毛越寺庭園（平泉町）など。

覆い屋をかけて遺構を見せる： 史跡新池埴輪製作遺跡（ハニワ工場公園、高槻市）など。

②遺構の形取りまたは3次元計測データから樹脂等の模型を作成して着色、現地に設置：

安満宮山古墳（高槻市）、史跡新池埴輪製作遺跡（ハニワ工場公園、高槻市）など。

③遺構と同材料によって遺構を再現して展示： 黒塚古墳（天理市 黒塚古墳展示館内）

④平面的に遺構の垂直写真を陶板に焼き、現地に設置： 恵解山古墳（長岡京市）

2) その他の設置物 ①解説板等、②周辺地形模型、③ガイダンス施設など。

3) 駅前の遺跡公園 東京都・府中本町駅前「国史跡武蔵国府跡国司館地区」

奈良時代前半の国司館を模型、原寸大の柱で復元整備。VRで当時の様子を体感。

まとめとご提案

- ・桜井地区は水無瀬殿関連遺跡が風景とともに残る。駅前の立地は、水無瀬殿の玄関口
- ・島本町が世界に誇れる、水無瀬殿という唯一無二の遺跡を利用したまちづくり
「鎌倉時代の皇室公家文化」、「後鳥羽院時代の庭園と風景がのこる町」
⇒文化財担当だけでなく、都市計画、観光、市民団体など町全体で取り組む⇔町の政策
⇒文化財保存とその活用により住民が地域を再認識し、新たな発見と誇り、住み続けたい町に。
- ・教育的効果：「水無瀬学」の創設 和歌、蹴鞠、連歌、水無瀬駒、装束、食など多彩に展開
←万能の帝王・後鳥羽院 小学校の総合学習、郷土愛を育成。伝統文化の次世代育成事業。
- ・観光商業的効果：水無瀬殿というブランド力。水無瀬殿スイーツ。御所池を月見の名所に。
「MINASE」ブランドを全国、世界に発信。

～水無瀬殿周遊プラン～

島本駅西口

尾山遺跡 庭園公園 ← 後鳥羽上皇の水無瀬殿についての説明、ルートの説明

ウエルカム水無瀬遺跡の位置付け・・・水無瀬殿の広がり意識してもらう。

↓ ・・・・さまざまなイベントが可能な公園

御所池と岬状田圃 ← 一体として公園化（原風景として田圃利用として残すのも一法）

↓ ・・・・御所池は、月見の名所 とする。

ふれあいセンターの屋上から周囲の景観を眺望

↓

西浦門前遺跡

↓ ← 山中の池～西浦門前遺跡庭園～鶴が池～川へ 水の流れを説明

鶴が池 ← 惟喬親王別荘地伝説

↓

水無瀬離宮跡方面へ

↓

馬場、東西大路跡

↓

水無瀬神宮・・・春夏秋冬、さまざまな行事やイベントが可能

↓

西国街道を経て歴史文化資料館へ

↓

島本駅東口

★参考文献

名神高速道路内遺跡調査会 1997『越谷遺跡他発掘調査報告書』

島本町教育委員会 2019『島本町文化財調査報告書 第34集 桜井地区・百山地区範囲確認調査概要報告』

豊田裕章 2016「水無瀬殿（水無瀬離宮）の都市史ならびに庭園史的意義」奈良文化財研究所学報第96冊

研究論集18『中世庭園の研究—鎌倉・室町時代—』奈良文化財研究所

森 蘊 1962『寝殿造系庭園の立地的考察』奈良国立文化財研究所十周年記念学報（学報第13）

図1 越谷遺跡 H4 年発掘調査第1地区・第2地区第2遺構面合成図

(名神高速道路内遺跡調査会 1997 年所載図を合成、●は H30 年試掘調査地 (島本町教育委員会 2019))

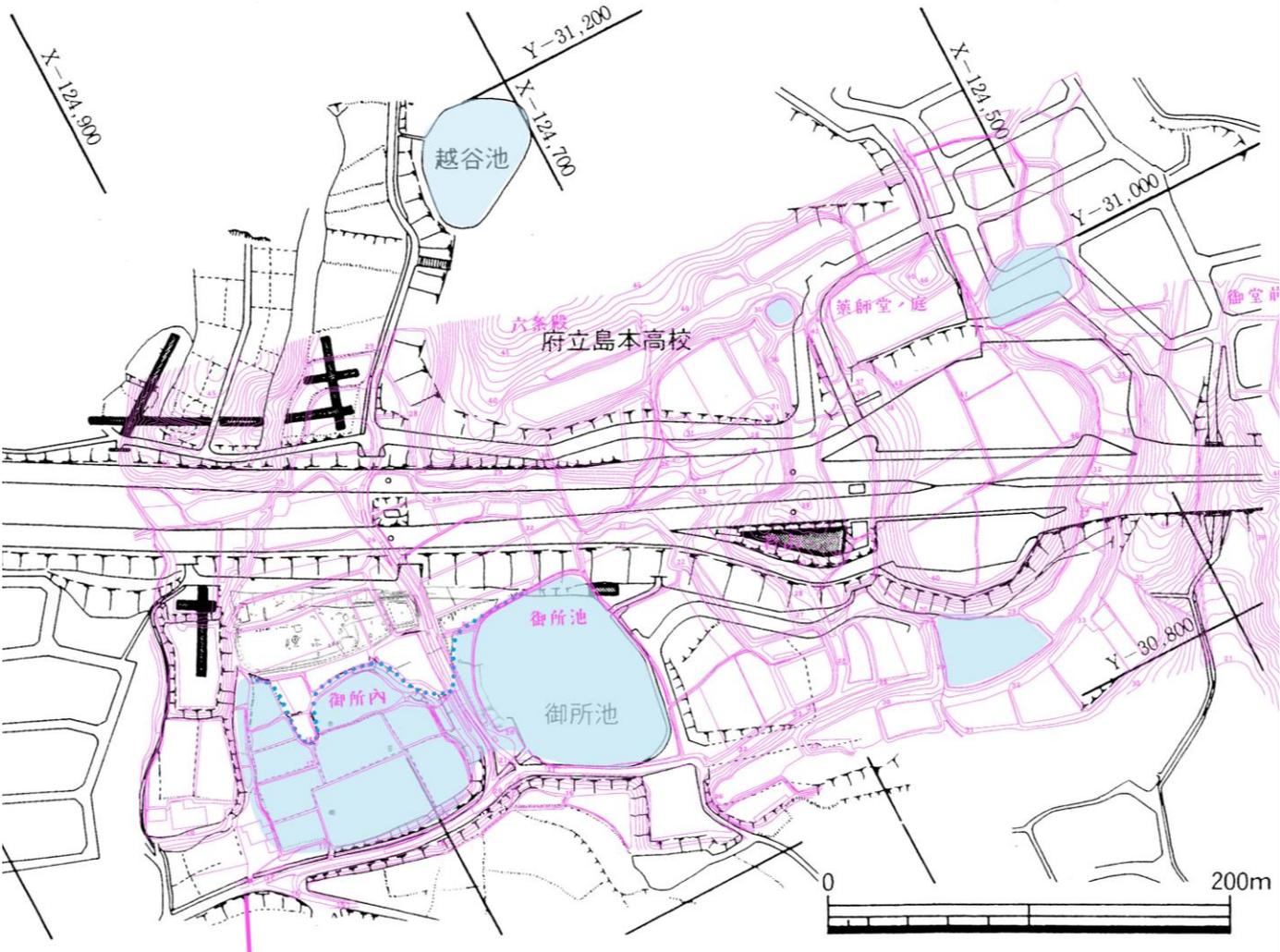


図2 『越谷遺跡』報告書所載図に、昭和34年森蘊氏測量図(奈良文化財研究所提供)を重ね(ピンク)、池と池跡を表示した(矢吹聖子氏作成)。